

春大会： 7月11日(日)
秋大会： 10月24日(日)

- 1) 大会名称
K-CAR MEETING 2021
in CENTRAL CIRCUIT
- 2) 開催日 / 申込期限
春大会： 7月11日(日) 申込期限 ~ 6月21日(月)
秋大会： 10月24日(日) 申込期限 ~ 10月11日(月)
- 3) 主催者及び大会事務局：株式会社サイドボンツーン
特別協賛社：株式会社セントラルサーキット
- 4) 開催場所： セントラルサーキット(2.804m)
兵庫県多可郡多可町中区坂本521-1
- 5) 参加資格
普通運転免許を所持し、ルールやマナーを守る、サーキット走行経験者。
(未経験者での参加も可能なクラスあり)
- 6) 開催クラス
 - *スーパーバトルスプリント(以下「SB」とする)
Rクラス(ナンバー無し車両、パイプフレーム車両参加可能)
ターボクラス(ナンバー付き車両)
NAクラス(ナンバー付き車両)
※改造範囲問わず、スリック&Sタイヤの使用が可能
 - *スーパーストリートスプリント(以下「SS」とする)
ターボクラス(スリックタイヤ使用不可)
NAクラス(スリックタイヤ使用不可)
ポルトオンタービンRクラス
(レーシング仕様、ラジアルタイヤ限定)
※レーシングの定義(ナンバー無し、エアコン&内装レス)
ポルトオンタービンSクラス
(ストリート仕様、ラジアルタイヤ限定)
※ストリートの定義(エアコン&内装助手席付き)
※ポルトオンタービンクラスの使用可能タービン一覧
ノーマルタービン及び、RHB31、HT06、HT07、DX27、DX30相当
(純正エキゾーストマニホールドにポルトオン出来るタービンに限る)
2ペダルクラス(スリックタイヤ使用不可)
※AT、CVT等の2ペダルによるレース
※新型アルトターボRSはアルトワークストロフィーに該当します。
 - *アルトワークストロフィー(スリックタイヤ使用不可)
チューンドタービンクラス(純正タービン以外に変更した車両)
ノーマルタービンクラス(純正タービン仕様)
※HA36型式の新型アルトワークスとアルトターボRSが対象の
ワンメイクレース
 - *NA660選手権
 - ①クラス スーパーエキスパートクラス
・改造範囲の広いチューニングカークラス
(原則、会場までの自走不可)
 - ①クラス エキスパートクラス
・一般公道走行可能な完全車検対応の改造車。
LSD装着可、ギア比変更OK
 - ②クラス ミドルクラス
・3クラス仕様のステップアップ。ハイグリップタイヤ&
軽量化OK
 - ③クラス フレッシュマンクラス
・ハイグリップラジアルタイヤ、ボンネット、ハッチなどの
軽量化の禁止
 - ④クラス 2ペダルクラス
・AT、CVT、AGSの2ペダル車両
- ※③クラスは初心者&サーキット走行未経験者対象クラス。JAF公式戦
経験者、過去に上位入賞した選手は自己の判断で②クラス以上へ変更
ください。(事務局によりクラス変更する場合があります。)
- ※各クラスの詳細は、【規則書2/3】「NA660選手権・車両規則」
を参照
- *コベントロフィー ダイハツコペンによるワンメイクレース
オープンクラス(Sタイヤ使用可能)
チューンドタービンクラス(純正タービン以外に変更した車両)
ボン付け100馬力クラス
ノーマルタービンクラス(純正タービン仕様)
- *S660トロフィー ホンダS660によるワンメイクレース
チューンドタービンクラス(純正タービン以外に変更した車両)
ノーマルタービンクラス(純正タービン仕様)
ノーマルタービン165クラス(フロントタイヤ165幅まで)
- *タイムトライアル
ナンバー付き車両によるタイムアタック
ターボクラス
NAクラス
36アルトクラス
- 7) 出場申込
①申込先 株式会社サイドボンツーン
〒709-0301 岡山県備前市吉永町加賀美10-1
TEL0869-93-4210
FAX0869-93-4211

②出場申込期限： 本規則書の【2】に示す。

③申込み方法

- ・別紙申込用紙に必要事項を記入し、現金書留にて参加料を同封し事務局宛に郵送。または、申込用紙郵送後、下記振込先まで参加料をお振込下さい。
- ※WEBエントリーの場合、規則書③へ記入のあるアドレスよりホームページをご確認頂き、WEBエントリーサイトよりお申込ください。
- また、参加料は下記の指定振込先へお振込下さい。
- ・参加料のご入金があった時点で正式受付となります。
- ・振込先

トマト銀行 本店営業部 普通預金 7174411
口座名義 株式会社サイドボンツーン

④参加料：(税込/入場券1枚、走行保険料含む)

- ・各レスクラス ¥25,500-
(SB、SS、アルトワークストロフィー、NA660選手権、
コベントロフィー、S660トロフィー)
- ・タイムトライアルクラス ¥18,500-
- ・募集期間終了時点で台数に達していなかった場合は、追加募集しますが、その場合は ¥1,000- (税込) のレイトエントリー料が別途必要となります。

⑤キャンセルについて：申込後のキャンセルは一切お受けできません。
※やむを得ない事情でキャンセルされる場合、下記内容にてキャンセル料をいただきます。

1. 開催15日前まで・・・・・・・・・2,200円引いて返金
2. 開催14日前～開催日・・・・・・・・・返金なし
※返金方法は、振込みとし上記金額より振込み手数料を引いて返金いたします。次回繰り越し対応は行いません。ご了承ください。
※開催1週間前(もしくは開催週)にお申込の場合は受理書(入場券含む) 発送を行いません。その場合は当日ゲートにて入場料をお支払い頂きます。

⑥クラス変更について：レスクラスからタイムアタッククラスへの変更は対応可能ですが、参加料の差額返金は致しません。

⑦開催中止について

やむなく開催中止となった場合、次回繰り越しを基本とするが返金希望者には手数料を引いて返金とします。

⑧募集台数

各クラス：40台(参加台数により、混走となる場合があります)

⑨ドライバー

- SB・Rクラスを除くクラスにて優勝されたSHOP関係者及びSHOPデモカーに該当される方は、次大会よりステップアップクラスへの参加を義務付けます。(レインコンディションは除く)
- ※プロドライバーについて
SS、NA660選手権1～5クラス以外のクラスは、プロドライバーが運転する事が出来る。
(プロドライバー：過去2年間の間に、GT選手権もしくはスーパーフォーミュラ/フォーミュラニッポンに出場されたドライバー)

⑩入場料

参加者以外の全ての方に¥2,000-が必要(税込)

8) 車両規定：市販軽乗用車及び市販軽自動車ベースの改造車でヘッドライト、ウィンカー、ストップランプ、フロントワイパーが正常に作動する車両。

①改造規定

- (1) SBは改造範囲を問わないオープンクラス。
- (2) SB・Rクラス以外の車両は全てナンバー付きとする。
例外的に、オーバーフェンダー化を伴わない白ナンバー車両の参加を認める。
但し、戦歴やチューニング内容などによって、主催者判断で上位クラス(SB)への編入を促す場合もある。
- (3) 【8】の①(1)(2)以外の基本は自由であるが、下記の事は必ず行って下さい。
・シートベルトは4点式以上の競技用シートベルトを義務装着する事。
・出来る限り綺麗に磨き、カッコよい車両に仕上げる事を強く推奨。
・オープンカーは4点式以上のロールバーを装着する事を推奨とする。
(ロールバーの装着がされていない車両は、クローズして走行する事を義務とする。)

②音量規定：制限無し

※近隣迷惑や環境の為に、直管・爆音マフラーの装着はご遠慮下さい。

③タイヤ：本数制限は無し。

一般ラジアルタイヤ (Sタイヤ、スリックタイヤは使用禁止とする。)

※SBはスリックまでの使用を認める。

※SSは、Sタイヤまでの使用を認める。

9) 燃料：サーキット場内のガソリンスタンドで購入が可能です。

(ハイオクガソリン、レギュラーガソリン、軽油、オイルが購入可能)

10) ビットイン・給油について

・ビットロードの速度規定は60km/hです。

※速度超過はペナルティが課せられます。

・給油時の注意：ビットパドック内での給油には必ず、ガソリン専用の携行缶を使用すること。消火器と携行缶は各自で用意すること。

11) ペナルティー

JAFのレース規則に基づいた判定を行います。(ライセンス所持者が判定します。)違反罰則に加えて、危険行為が発見された場合はペナルティーが課されます。また、レース中もしくはレース終了後に2名以上の参加者より、イエロー区間での追い越し等の危険行為に関して報告を受けた場合、協議の上ペナルティーを課す場合がある。ペナルティーを課せられたドライバーは必ず従わなければならない。安全に走行を行って頂く為の事ですので、ご理解ご協力をお願い致します。

- 12) 赤旗規則
コース上において走行が危険であると判断した場合、全ポストにてレッドフラッグ及びレッドシグナルが表示され、走行は一時中断となる。
・走行車両は定められた赤旗ラインにて停車すること。
・危険箇所が復旧した時点で流れる走行再開のアナウンス及びスタッフの指示に従うこと。
- 13) 参加者の装備
①ドライバーの服装は、長袖・長ズボンを着用しなければならない。
また運転中以外でも、作業時には必ず着用しなければならない。
(耐火性のドライビングスーツやグローブ、シューズを着用することを強く推奨する)
②ヘルメットはフルフェイスタイプもしくはジェットタイプ。
- 14) 走行内容
・各レースクラス
【S B、S S、アルトワークストロフィー、NA 6 6 0選手権、コペントロフィー、S 6 6 0トロフィー】
フリー走行(20分)、予選(15分)、決勝レース(10周)
※NA 6 6 0クラスのみ、悪天候の場合クラス毎の集団によるクラス隊列式のローリングあるいはスタンディングスタートを行います。
・タイムトライアルクラス：20分×2本のタイムトライアル
- 15) スタート方法：予選結果にもとづくグリッドスタートする。
- 16) ピット使用に関して、ならびにその他お願い
・各チーム指定の割り当てられたパドックに車両を停めてください。
・P I Tは競技中のみ使用可能。使用P I Tは大会当日発表します。
・P I T数に限りがある為、P I Tにつき複数チームでご利用下さい。
(P I Tの独占は禁止です)
・P I T及びプラットフォーム内での禁止事項は遵守してください。
(傘の使用や、飲食等は出来ません)
・パドック内にてB B Q等火気を使用する場合は、スポンサーブースエリアをご利用下さい。
(利用料等については、事務局へお問い合わせ下さい)
- 17) 賞典
各クラス上位3台
- 18) キャンセルに関して
申込後のキャンセルは一切お受け出来ません。
また、次回繰越対応も致しかねますので、ご了承ください。
- 19) レイトエントリーに関して
募集枠に空きがあるクラスに限り追加募集を致します。その場合は、エントリー代金に¥3,000-(税込)が加算されます。
- 20) 安全遵守事項
①必ずドライバーズブリーフィングに本人が参加する事。
(参加されない場合は、走行をお断り致します)
②走行に適した健康状態で参加し、走行中は常にお互いの安全を考慮した協調的マナーのもとに、自己の技量とコース状態に適した速度で走行する事。また、危険とみなされる行為を行ってはならない。
③場内施設を破損した場合は、復旧に要する費用を実費お支払頂きます。
タイヤバリア等も含んでおります事あらかじめご了承ください。
④ピット内での喫煙は禁止です。必ず所定の場所で行ってください。
⑤トラブルや時間の関係上スケジュールが変更になる場合があります。
※雨天決行ですが、当日の雨量により周回数を減算する場合があります。
- 21) 再車検
NA 6 6 0選手権のみレース終了後、上位ゴール車両については再車検を行う場合があります。車検員は、上位3人のドライバー&チーム立会にて、自車両以外のほか2台をチェックします。
※事務局が指定したチーム代表やスタッフにもお手伝いを頂く場合があります。

NA 6 6 0選手権・車両規定

■概要

1. ナンバー付き車両限定
維持費の安いK-CARのメリットを、最大限に活用。レースや練習のたび積載車を借りるよりも、結果的にコストを抑えられることを考えております車検を取得していない車両の場合は、以下の車両規則に従い、公道を走行出来る状態と同等な仕様でなければならない。
2. タイヤ
Sタイヤは摩耗が早く価格も割高、さらに路面コンディションによりコパウンドを変えなければいけません。そこで全クラスともラジアルタイヤ限定とし、参戦費用を抑えられることを考えております。
3. エアコン
通勤をはじめとした街乗りを使用するオーナーが大半と思われます。そこで快適性を大きく損なう事となる、エアコンを外すことは禁止とします。
4. 車種ごとの改造範囲の特例
車種ごとに走行性能が大きく異なる場合は、車種ごとにファイナルギアの変更を特例で認めるなど、シーズン途中であっても導入する場合があります。

■エンジン系

1-1: エンジン本体

純正部品の旋盤加工/溶接/研磨など機械加工は禁止。ピストンは純正スタンダードサイズに限り使用でき、排気量アップは認めない。カムシャフトなど部品の変更に同様で、同一エンジン型式の純正部品に限り使用を認める。またエンジンを載せ替える場合は、車検証上で同一型式(構造変更が必要ない場合)であれば気筒数に関係なく認められる。

ブローパイガス還元装置のホースを吸気系から取り外す場合は、排気量と同等以上の容量があるキャッチタンクを必ず取り付け、大気開放は禁止とする。

1-2: フライホイール

- ①④クラス：加工や変更を認める。
- ②③クラス：加工や変更を禁止する。

1-3: エンジンマウント

エンジンマウントは市販品に限り変更を認める。ただしエンジンマウント位置の変更、エンジンマウント本体の加工は認められない。
樹脂などを注入する程度の補強は認められる。

1-4: ラジエーター関連

ラジエーター、サーモスタット、ラジエーターキャップ、ラジエーターホースの変更は認められる。水温計センサーを取り付けるための、ラジエーターホースへの加工も認める。ラジエーターファンを強制的に作動させる、ON/OFFスイッチの装着もクラスを問わず可能。

1-5: オイルクーラー関連

オイルクーラーの装着は認められるが、フィルターを移動する場合は安全な位置でなければならない。油温計や油圧計のセンサーを取り付ける加工、オイルパンの容量アップやパッフル加工も安全であれば認められる。

1-6: バッテリー

バッテリー位置の変更は認められるが、重量に耐えうる台またはホルダーを使い、確実に固定すること。室内に移動する場合は、ドライバッテリーを除き金属板で隔壁しなければならない。容量および取り付けブラケットの変更も可能だが、ボディにアースされていない側の端子(+)は短絡を避けるため、確実な方法で絶縁すること。

1-7: ECU

- ①④クラス：フルコンを含めて変更が認められる。
- ②クラス：燃調コントローラーとスピードリミッターを解除するための簡易的な製品のみ装着を認める。点火時期やレブリミットなど燃調以外を変更できる製品や、コンピューターに接続しデータを書き換えできる製品は認めない。
- ③クラス：スピードリミッターカットを解除するための製品のみ使用できる。
※電子スロット車両のスロットルコントローラーについて
クラスを問わず使用できる。
※ECUの封印について
規則を一部簡素化すること等を目的とし、ECUの封印は行いません。

1-8: 点火系

- ①②④クラス：ハイテンションコードやプラグの変更、アーシングなど点火系パーツの装着は認められる。同時点火への変更も可能。
- ③クラス：プラグやプラグコードを除き一切の変更は認められない。

1-9: 燃料系

燃料タンクの加工、コレクタータンクの装着、安全タンクへの変更はすべて認められない。インジェクター容量や燃料ポンプ吐出量の変更も不可とする。燃料は通常のガソリンスタンドで購入できる製品に限り、レースガスなどの使用は認めない。ガソリン添加剤は、市販品に限り使用できる。

1-10: 吸気系

エアクリナーボックスやパイピングの変更が認められる。エアクリナー本体は剥き出し、純正交換のどちらでも構わない。耐熱バンテージや導風板の装着も認められる。

1-11: スロットルボディ

- ①①④クラス：スロットルボディの加工や変更を認める。
- ②③クラス：スロットルボディの加工や流用を含む変更を認めない。

1-12: 排気系

全クラスマフラーの音量を96dB以下とする。通常の一般車検は96dBが合格ラインだが、サーキット内に限り99dBまで可能とする。ただし96dBを超える場合、一般道の走行時はインナーサイレンサーで車検に通る音量まで抑えること。再車検にて確認を行う。
排ガスについても、レース後の再車検で排ガステスターにて確認を行う。合格ラインは一般車検の値を基準とする。

- ①クラス：触媒の搭載位置も含めて変更可能。ただし、マフラー音量、排気ガスは上記の基準をクリアすること。
- ①クラス：車検適合品であれば、メタルキャタライザー(スポーツ触媒)への変更は可能
- ④クラス：排ガスや音量など、保安基準に適合する範囲内であれば、マフラー/エキマニ/キャタライザーを自由に変更できる。ただし触媒は必ず装着すること。マフラーの出口は後方のみとし、サイド出しは左右を問わず禁止とする。
- ②③クラス：排ガスや音量など、保安基準に適合する範囲内であれば、マフラー(フロントパイプ/センターマフラー/リヤマフラー)に限って変更が認められる。
触媒およびエキゾーストマニホールドは純正を使用し、位置の変更や加工はすべて禁止。
マフラーの出口は後方のみとする。

1-13: 過給器の取り外し

過給器が付いた車両から過給器を外した、または同型式の自然吸気エンジンに載せ替えた車両での参加を認める。

■足まわりとブレーキ

2-1: ブッシュ類

強化品への変更が認められる。ピロボールも使用できる。

2-2: スプリング

自由長やレートの変更は自由だが、サーキットまでの往復を含む公道走行時は9cm以上の最低地上高が確保されており、縦方向に遊びがない状態でないといけない。

※レース中は最低地上高が9cm以上である必要はない。

2-3: ダンパー

倒立式や別タンク式を含めて、変更が認められる。材質は自由で、減衰力を室内から調整するコントローラーも使用できる。

2-4: サスペンションアームなどパーツの変更について

車検対応品であり、市販化されているパーツであれば（ワンオフパーツは不可）変更を認めます。

上位車両の再車検時に、車検対応ならびに市販パーツであることを証明できるカタログ、ウェブサイト画面のコピーなどの提示を求める場合があります。

サスペンションパーツに限らず、交換部品については（?クラスを除いて）同様とします。

2-5: 制動装置

ボルトオンで装着可能なブレーキパッド/ローター/ホース/キャリパー/マスターシリンダーなどの装着が許される。またバックプレートの取り外しは認められ、マスターバックの取り外しは認められない。※ドラムブレーキからディスクブレーキへ変更する際は、必ず公認車検を取得し書類を持参すること。

■駆動系

3-1: クラッチ

ディスク/カバー/ホースの変更が認められる。

3-2: トランスミッション

①④クラス: ファイナルギヤを含め、変更が認められる。

②③クラス: ファイナルギヤを含め、変更が認められない。

3-3: ディファレンシャル

①④クラス: 機械式 LSD の使用が認められる。

②③クラス: 機械式 LSD の使用は認められない。

3-4: 駆動方式

①④クラス: ベース車両の駆動方式を変更することができる。

②③クラス: ベース車両の駆動方式を変更することはできない。

3-5: A/T から M/T または M/T から A/T への換装

オートマチックからマニュアルミッションに変更した車両、またはその逆の変更を行った車両はクラスを問わず出走できる。ただしナンバー付き車両は必ず公認車検を取得しなければならない。

■タイヤとホイール

4-1: タイヤ&ホイール

タイヤ&ホイールは下記の要件をすべて満たさなければならない。

A) タイヤサイズは自由だが、4輪は同一の銘柄、同一のサイズとする。

B) ホイールのオフセットは自由で、4輪とも同一である必要はない。

C) ホイールナットの材質および形状の変更は許される。

D) タイヤへの加工は認められない。

※タイヤの加工は特に悪質な違反と見なす。

E) ホイールスペーサーはハブボルトに固定できるタイプのみ認める。

F) タイヤとホイールは、いかなる場合も他の部分と接触してはいけない。

G) レース終了後を含め、スリップサインが出てはならない。

H) ホイールのバランスウェイトにはテーピングを施し、走行中に脱落しないように処置すること。

I) 他車と接触したときのダメージを軽減するため、ロングタイプのホイールナットを先端がタイヤおよびホイールの最外縁部より飛び出してはならない。

4-2: 使用タイヤ

①②④クラス: S タイヤを除く、全グレードのラジアルタイヤの使用が可能。

③クラス: S タイヤを除く、ハイグリップラジアルタイヤのトップグレードは使用不可。

■ボディ

5-1: ボディ補強

ボルトオンの補強バーなどを取り付けることは認められるが、スポット増しを始め溶接などによるボディ補強はすべて禁止とする。

5-2: ロールオーバー

全クラス: センtralローカルルールに基づき、6点式以上のロールオーバーゲージ装着を強く推奨する。

未装着でも出場可能とするが、【5-4】軽量化の項目に注意

5-3: モノコック

モノコックの変更および改造は認めない。

5-4: 軽量化

6点式以上のロールバーを装着していない車両は車体重量をイコールコンディションに近づけるため、次のルールが適用される。

・ボンネットやリヤゲートなど、軽量ボディパーツの使用を禁止とする。

・レース中に助手席や後部座席を取り外しはならず、さらに助手席は純正またはセミバックシートを装着しなければならない。

・レース中もスペアタイヤを搭載しなければならない。

■外装

6-1: 自動車登録番号標（ナンバープレート）

レース中のみ取り外しや変更が認められる。

6-2: 空力装置（エアロパーツ）

保安基準に抵触しない限り問題はないが、ボディ幅が軽自動車のサイズを超えるフェンダーなどは認められない。構造変更を行なったとしても禁止とする。

6-3: ガラス

フロントガラスを変更する場合は、新車時に装着されていたものと同じ合わせガラスに限り認める。アクリルガラスの使用はフロント/サイド/リヤとも認められない。フロントおよびフロントサイドガラスへの塗装、色付きフィルムの貼り付け、ステッカーの貼り付けはすべて認められない。サイドおよびリヤガラスは保安基準に抵触せず、かつ視界の妨げとならない限り、色付きフィルムやステッカーの貼り付けを認める。

6-4: ボンネットおよびリヤゲート

・6点式以上のロールオーバーゲージ装着車に限り、安全な範囲での変更および加工が認められるが、ボンネットピンなど確実な方法で固定してすること。リヤゲートのダンパーはガスを抜き、ピンで固定することを推奨する。

・③クラスのボンネット、リアゲートについて【変更不可】

③クラスは、ボンネットとリアゲートは純正を使用すること。

交換している車両は②クラスでの参加となる。

6-5: ミラー

室外ミラーの変更を認める。

6-6: ドア

軽量ドアの装置、サイドドアビームの切断など加工はすべて認められない。純正サイドドアビームと同等以上の強度を確保したサイドバーを装着した場合のみ、純正サイドドアビームの切断や取り外しが認められる。

6-7: 牽引フック

牽引フックなどの速さや動力に関係ない部分は車検で失格にはならないが、強く装着を推奨する。

■内装

7-1: エアコンおよびヒーター

エアコンおよびヒーターの取り外しは認められず、いかなる場合においても正常に作動しなければならない。エアコンベルトの取り外しも禁止する。

7-2: 補助メーター

電気式メーターに限り、追加メーターを装着することが認められる。ただし純正メーターは当初の機能を保持していなければならない。取り付け方法と位置に関しては、乗員の保護と視界の確保を考慮すること。

7-3: 座席

バケットシートへの変更を認める。ただしシートを車体フレームへ直に取り付けることや、スライド機構がないシートレールは認められない。また6点式以上のロールオーバーゲージ装着車両は、レース中に運転席を除くシートを取り外すことができる。

7-4: ステアリング

ステアリングボスを含め、保安基準に抵触しない範囲での変更が認められる。

なおエアバッグ付き車両は、レース中はエアバッグコンピューターのコネクターを外し、作動をキャンセルさせなければならない。

7-5: シートベルト

シートベルトは確実な方法で装着しなければならない。シートレールへの共締めは禁止。

①④クラス: 4点式以上のシートベルトの装着を義務付ける。

②③④クラス: 3インチ幅で4点式以上のシートベルトを強く推奨する。なお2018年から2インチ幅および後部の取付箇所が1か所のシートベルトは使用禁止とする。

7-6: 室内ミラー

純正ミラーに被せるタイプのミラーは、競技中に限り取り外すこと。

以上



※イベントホームページ※



※SIDE PONTON ツイッター※

※4輪イベントFacebook※



イベントサイト「Meisterclub」

各イベント開催日程や規則書、申込用紙、リザルト等
様々な情報あり!!

<http://meisterclub.net/>

Facebookでは

『K-car meeting』で検索!!

イベントサイト <http://meisterclub.net/>